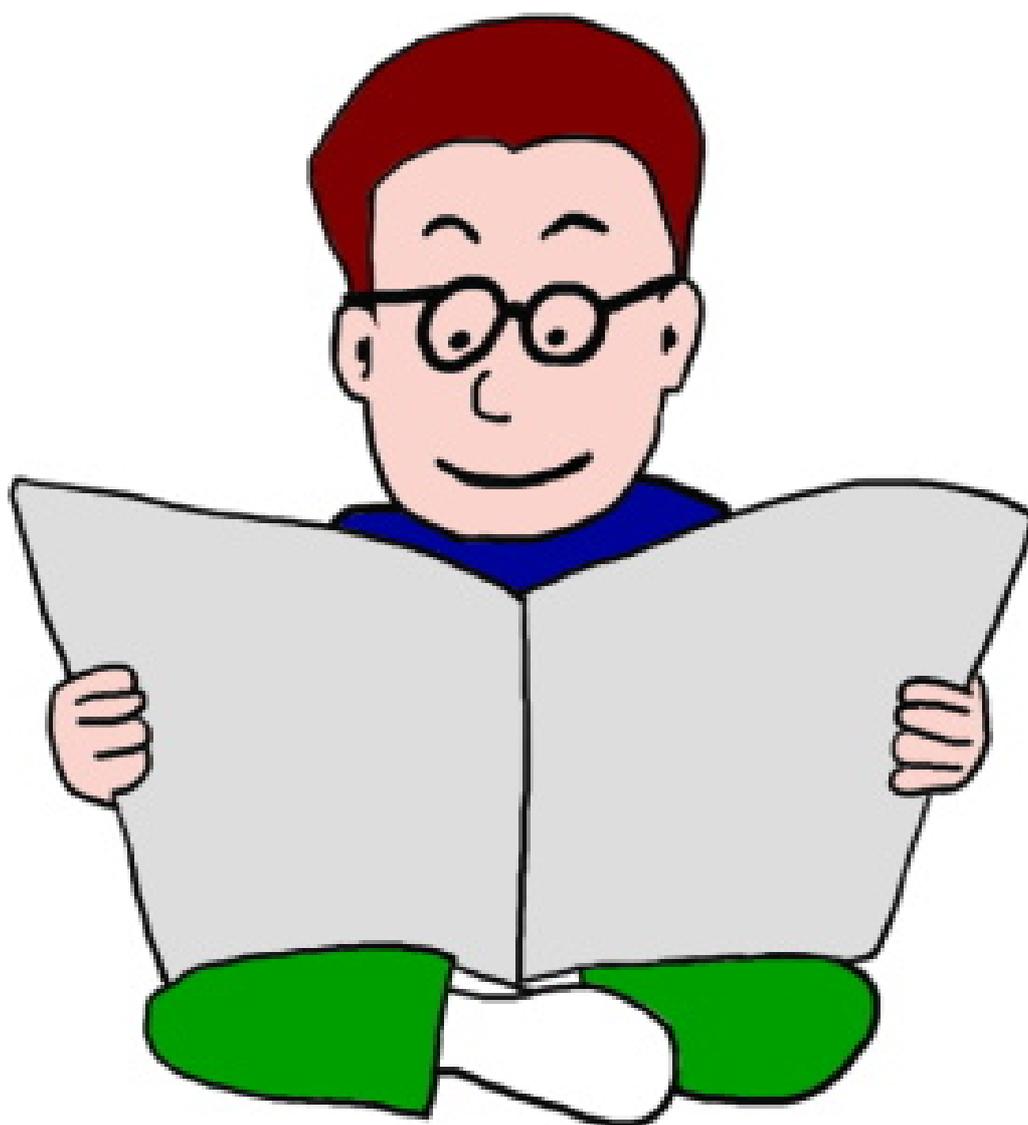


本当に悪いのは、誰？



東郷 潤

新聞を読んで、悩んでいる人がいます。

う〜〜〜ん。
色々な意見が
あるものだなあ

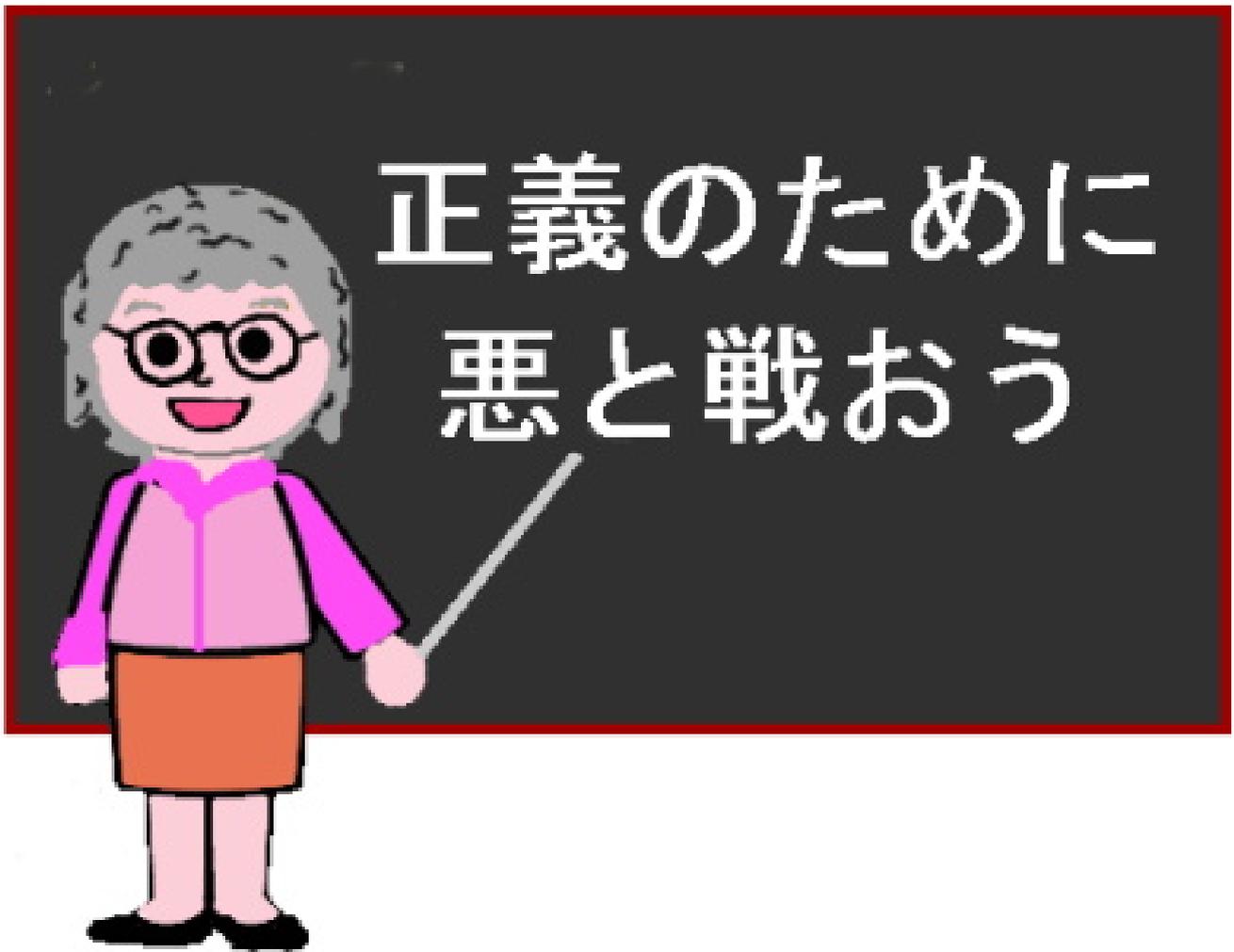


アフガン戦争 米軍基地
パレスチナ問題 テロ
拉致問題 尖閣諸島
死刑制度冤罪 中絶
アニマルライト 政治と金
地球温暖化 . . .

**お互い非難しあっているけれど…、
どっちが悪いんだろう？**



**本当に悪いのは、
誰なんだ？**



ところで、彼は、悪と戦わなければいけないと信じていました。子供のときから、ずっとそういう教育を受けて来たのです。

・・・そこで、彼の悩みを、彼の信念に従って書き直すと、こうなります。

**どっちと戦うべき
なんだろう？**

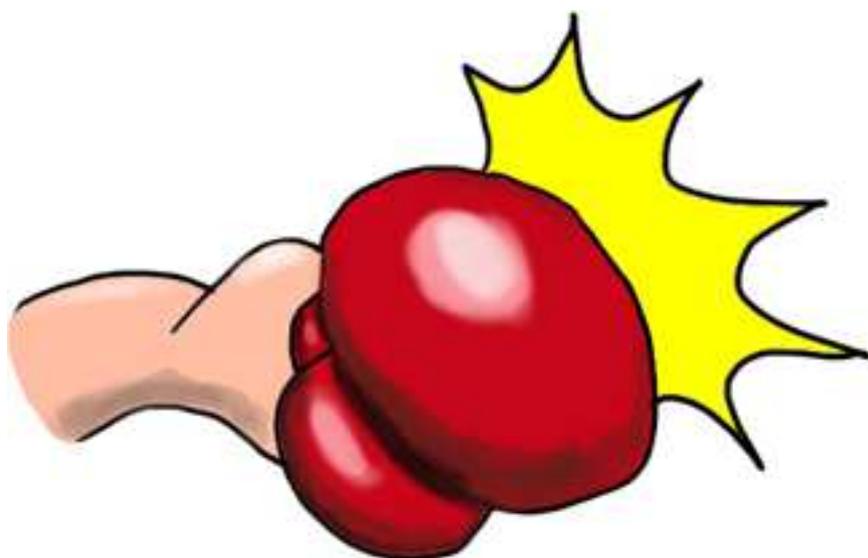
**どっちが悪い
なんだろう？**



**本当に戦う
べき相手は、
誰なんだ？**

**本当に悪いの
は、誰なんだ？**

誰かと戦う



・・・選択は、
それだけですか？

あとがき 一絵本「本当に悪いのは誰？」

善悪という考え方／言葉は、本当に様々な錯覚を生み出します。そして、これらの錯覚は人類の長い歴史の中で、多くの悲劇をもたらして来たと考えることが出来ます。(詳細は、弊著「善悪という怪物」をご参照ください)。

もし、あなたがこの絵本に共感されたなら、出来るだけ多くの方に、読ませてあげていただければと思います。

本絵本は、自由にコピーして下さって結構です(商業出版はじめ金銭的な授受を伴う場合を除きます)。また下記WEBからは、東郷潤の他の絵本やメッセージをダウンロードすることが出来ます。

www.j15.org

©Jun Togo 2010